

②コミュニティバスの運行形態見直しについて

【令和4年度 デマンド交通 実証実験の概要】

- ・運行形態 予約があった停留所と停留所の間を運行
- ・運行期間 令和4年10月～12月の平日9時～15時（土日祝は運休）、計57日間
- ・運行エリア 小浜市街地の一部、雲浜地区、西津地区、内外海地区
- ・対象者 雲浜地区、西津地区、内外海地区に住所を有するもの
- ・運行車両 市が委託するタクシー車両（定員4名／台）
- ・料金 無料
- ・予約方法 電話予約またはWEBサイト予約（利用日の1週間前から1時間前まで予約可）
- ・停留所 あいあいバスの既存バス停（36か所）
居住地区内の追加バス停（44か所） } 計80か所



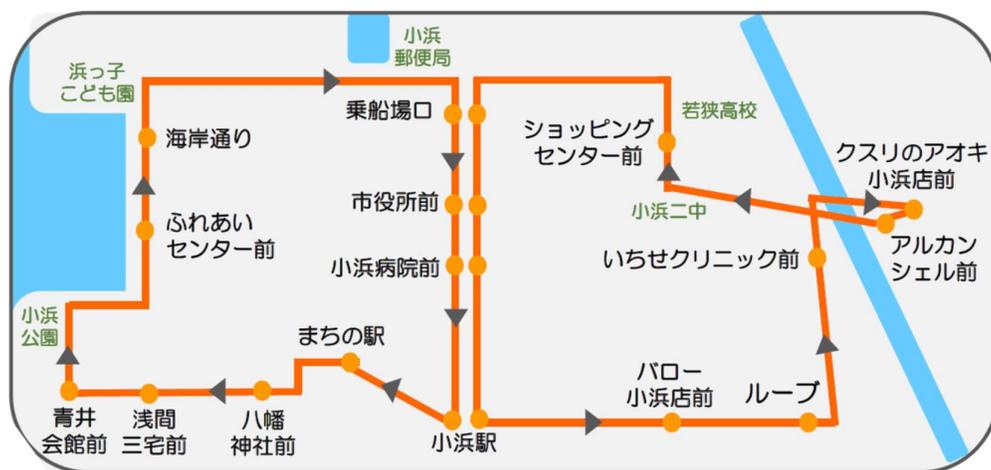
【実証実験の結果】

- ・利用者数 実利用者数96人 運行件数630件 乗車人数750人
実利用者のうち70代以上の高齢者が77%を占めている。
乗合率は1.19人で、乗合となることは少なかった。
- ・乗降場所 雲浜地区の利用者が多く、雲浜地区の乗降場が多く利用された。
小浜市街地エリアでは「小浜病院前」「小浜駅」「市役所前」が多く利用されたほか、「ショッピングセンター前」「パロー駐車場」など買い物への利用もみられた。
- ・輸送コスト デマンド交通（3か月間） 7,651円／1人当たり
（比較用：あいあいバス（日中9時～15時） 3,465円／1人当たり）
- ・利便性 居住地近くに追加したバス停が多く利用されていた。
多くの利用者が希望時間の20分以内の予約確定となっていた。
一方で、朝夕の時間帯および土日の運行等、運行時間の拡大を求める意見が多かった。
- ・持続可能性 デマンド交通を導入する場合、輸送コストの増加が見込まれることから、持続可能な交通体系の整備には、利用者の確保と適切な運賃設定が必要。
デマンド交通の自由度が増すほど、通常のタクシー事業とのすみ分け、タクシー事業の維持が難しくなる。

★導入可否について、さらに総合的な検証が必要である。

【令和4年度 市街地循環バス 実証実験の概要】

- ・運行形態 定時定路線による運行で、利用にあたって事前予約や登録は必要なし
- ・運行期間 令和4年11月の平日9時～14時台（土日祝は運休）
- ・便数 1日7便（1便約40分）
- ・対象者 どなたでも利用可能
- ・運行車両 市が委託するハイエース車両1台（定員8名）
- ・料金 無料
- ・運行ルート 小浜駅を中心に、病院、店舗等を回るルート



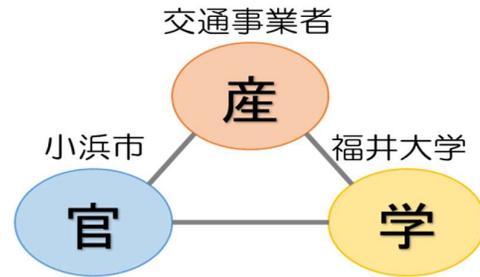
【実証実験の結果】

- ・利用者数 273人（平均乗車人数 13.7人/1日当たり）
- ・乗降場所 「小浜駅」「青井会館」「クスリのアオキ」「アルカンシェル前」「ショッピングセンター前」の利用が多くみられた。
- ・輸送コスト 4,254円/1人当たり
- ・利便性 利用目的は「買い物」が最も多く、府中エリアに停留所を設置したことにより、スーパーや衣料品店など複数の店舗を回る利用に需要があった。
一方で、最終便の時間が早いという意見が多く寄せられた。

★本格運行を行うには、運行ルートの再検討や運賃設定、利用者拡大などの課題解決が必要である。

【小浜市地域公共交通再編プロジェクト】

令和5年度は、産官学の連携で、デマンド交通および市街地循環バスの導入について、その有効性の検証を行い、小浜市に適した公共交通を検討していく。



○令和5年度の事業予定

- ① デマンド交通および市街地循環バスの利用者、交通事業者、商業施設へのヒアリング
- ② 市民参加型のワークショップ
- ③ 運行形態見直し時のクロスセクター効果による定量的評価

既存の公共交通との課題整理、役割分担、連携について合意形成を図っていく。

○現状報告

デマンド交通および市街地循環バスの利用者に対し、ヒアリングを実施

～デマンド交通利用者の意見～

- ・現在のあいあいバスよりバス停が近く使いやすい
- ・あいあいバスは本数が少ないので、デマンド交通の方が便利
- ・デマンド交通の運賃設定は1回500円以内にしてほしい
- ・府中エリア（しまむらなど）も停留所に加えてほしい
- ・帰る際の1時間前予約が不便。30分前にしてほしい

～市街地循環バス利用者の代表的な意見～

- ・複数の店舗を回る買い物に使い勝手がよかった
- ・あいあいバスは1日に2便しかない（小浜地区）ので午前中に行き帰りできる便がほしい
- ・市街地循環バスの運賃設定は500円以内にしてほしい
- ・海岸通りでなく、1本内側の住宅地の中の通りを走ってほしい
- ・バス停環境について、屋根やベンチがほしい

利用者が求める公共交通とは・・・

- ① 停留所まで歩いて行けること（居住地に近いバス停留所）
- ② すぐに乗り物がくること
（定時定路線であれば運行頻度が高いもの。予約型であれば待ち時間が短いもの。）
- ③ 日常使いができる料金であること（1回500円が上限の目安）

○今後の取り組み

- ・引き続き、交通事業者、商業施設へのヒアリングを実施
- ・市民参加型のワークショップを開催し、小浜市民に適した公共交通の在り方を検討
- ・第2回小浜市地域公共交通会議（10月初旬を予定）で今後の方向性を示す

《参考》

【デマンド交通利用者へのヒアリング】

- ・日 時 令和5年7月3日（月）、6日（木）
- ・場 所 ふれあい東山手会館（雲浜地区）
内外海コミュニティセンター（内外海地区）
- ・参加者 各地区在住の利用者 3～4名
内外海コミュニティセンター 野村センター長（内外海地区のみ）
福井大学 川本教授 大学院生4名
小浜市新幹線交通・まちづくり課 岡本



質問事項	雲浜地区の回答	内外海地区の回答
利用目的と 利用場所	<ul style="list-style-type: none"> ・小浜病院への通院 ・バローやショッピングセンターへの買い物 ・週3, 4回利用していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小浜病院への通院（病気の関係で自家用車を運転できなかった） ・市内観光（小浜駅から市街地循環バスへ乗り継ぎ）
現在の交通 手段	<ul style="list-style-type: none"> ・あいあいバス、タクシー、徒歩 ・タクシー料金は小浜病院まで片道1050円かかり、通院が大変 ・夏はバス停まで歩くだけで目が回る 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいあいバス、自家用車、家族の送迎、徒歩 ・公共交通を使うと少し歩くため健康にいい。
デマンド交通の 利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・1回につき250円～500円で、定額制が望ましい。 ・運行範囲が広がるならその遠い距離に 応じてお金を払いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・100円だと嬉しいが、500円くらいが妥当
デマンド交通の 月額制 利用	<ul style="list-style-type: none"> ・月額2000円 ・月によって利用頻度が違うため使いにくい ・回数券の方が使いやすい ・月の交通費の許容範囲は利用頻度や交通手段で変わる 	<ul style="list-style-type: none"> ・月額3000円 ・回数券の方が、家族でシェアもできるので便利
予約方法	<ul style="list-style-type: none"> ・電話予約(全員) ・スマホは持っているがインターネットがない。 ・ネット予約ができることを知らなかった。 ・帰る際に予約して1時間待つのが大変。せめて待ち時間を30分にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット予約、電話予約それぞれの利用者がいた。 ・前日に行きの予約をし、帰りはあいあいバスを利用していた。 ・30分前の予約を受け付けてほしい。 ・予約を取る行為が億劫。定時定路線の方が楽。

<p>停留所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「しまむら」など府中エリアを停留所に加えてほしい。 ・今富地区や遠敷地区などもっと範囲を広げてほしい。 ・デマンド交通から市街地循環バスへの乗換が不便だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しまむら」などの府中エリア、温水プールを停留所に加えてほしい。 ・あいあいバスのバス停が遠い区もあるので、デマンド交通はありがたい。 ・駅前に何もないので駅前の停留所はいいのではないかな。 ・田烏から上中へ向かう便がほしい。
<p>ドアツードアの需要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最寄りのバス停が近かったため、ドアツードアでなくてもよい。 ・プラス 100 円でドアツードアにするのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家まで来てくれる方がありがたい。 ・バス停より多少交通費がかかっても構わない。
<p>乗り合い方式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異性と一緒だと少し緊張する。 ・安くなるなら辛抱できる。 ・気にならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナも収まるだろうし問題ないのではないかな。 ・抵抗感はない、むしろいいと思う。
<p>運行時間帯</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土日の運行がなかったため、土曜日だけでも運行してほしい。 ・平日は 17 時まで運行してほしい。 ・土日は 15 時まででも大丈夫。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝 8 時～16 時（または 17 時）が望ましい。 ・毎日動いていることが大事。 ・イベントやプライベートでも利用したいので、土日はどちらも運行してくれると嬉しい。
<p>その他意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験をやめてほしくなかった。早くデマンド交通を再開してほしい。 ・タクシーは前日予約を受け付けてくれない。当日電話しても夏は観光需要、冬は降雪で来てくれないこともある。 ・あいあいバスはほとんど人が乗っておらず無駄だと思う ・デマンド交通をしないならバスの本数を増やしてほしい。 ・バス停にベンチを設置してほしい。 ・冬は特に小浜まで出るのが大変なので、生協などの移動販売を利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通はバスより運転手との距離が近く、話ができることがよかった。 ・定時定路線だと予約不要で楽だが、バス停から遠い人はデマンド交通の方がいい。 ・もっと PR をすれば利用者も増えたと思う。ノーマイカーデーのようなイベントを行うとよいのではないかな。 ・近所の人に送迎を頼むのは、頼む側も頼まれる側も気を遣うので、デマンド交通があるとよい。 ・(あいあいバスについて) 人が少ないのに大きなバスを走らせるのはもったいない。

【市街地循環バス利用者へのヒアリング】

- ・日 時 令和5年7月6日（木）
- ・場 所 菊池会館（小浜浅間）
- ・参加者 小浜地区民（青井・浅間・貴船） 8名
福井大学 川本教授、大学院生2名
小浜市新幹線交通・まちづくり課 岡本



質問事項	回答
利用目的と利用場所	<ul style="list-style-type: none"> ・小浜病院への通院 ・ショッピングセンター、アヤハディオ、しまむらなど ・複数の店舗を回る買い物に使い勝手がよかった。
現在の交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ・あいあいバス、タクシー、自転車 ・あいあいバスの本数が少なく、9時台に乗って出かけると、14時台まで帰る手段がない。せめてお昼に戻ってきたい。 ・タクシーは1時間待つこともある。
市街地循環バスの利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・200円～500円。タクシーより安ければよい。
市街地循環バスの月額制利用	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月利用回数が変わるので、いくらが妥当かわからない。 ・回数券の方が使いやすい。
定時定路線と予約型	<ul style="list-style-type: none"> ・予約を忘れることがあるので定時定路線の方が安心してわかりやすい。
停留所	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸通りのバス停は海側のバス停を使用するので道路を渡ったり、海風が当たったりと環境が悪い。一本内側の通りを走ってほしい。 ・停留所にベンチがほしい。 ・店舗前は屋根やベンチがあるスペースを利用してほしい。
乗り合い方式	<ul style="list-style-type: none"> ・抵抗はない。いいと思う。
運行時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ・家族がいれば土日は送迎を頼めるが、一人暮らしの人もいるので、できれば土日でも運行してほしい。 ・夏は明るいので17時くらいまで運行してほしい。季節によって運行時間を変えるのはどうか。 ・毎日運行しなくていいので、あいあいバスと交互に運行してほしい。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・早く運行を再開してほしい。 ・ずっと運行していれば認知も広がり、利用者ももっと増えると思う。 ・パンフレットの時刻表がわかりにくかった。 ・買い物は移動販売も便利で利用しているが、やはり自分で見て選んで買いたいので、店舗に行きたい。